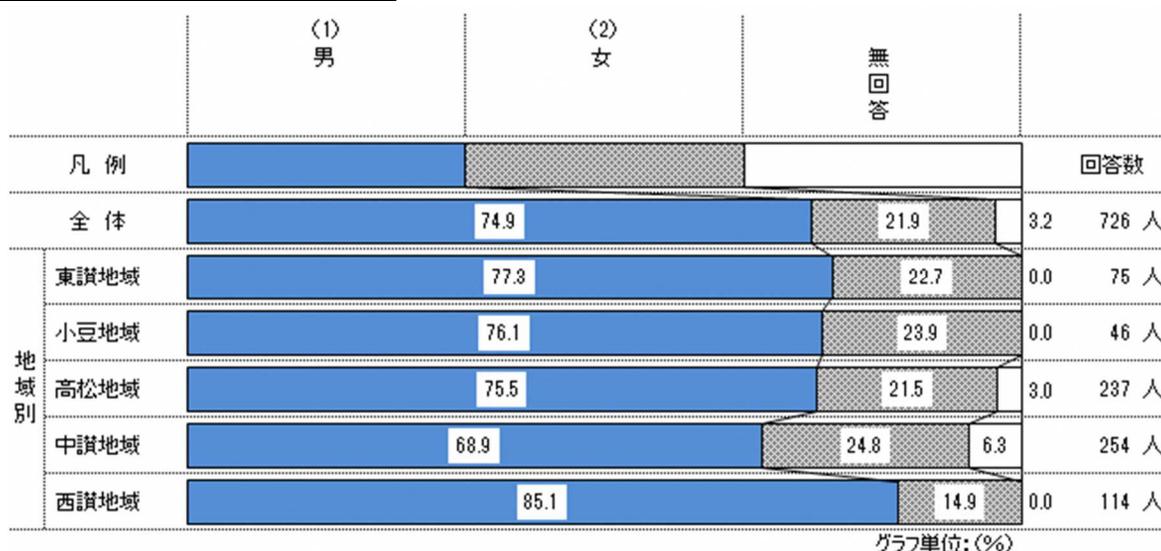


第4章 参考資料

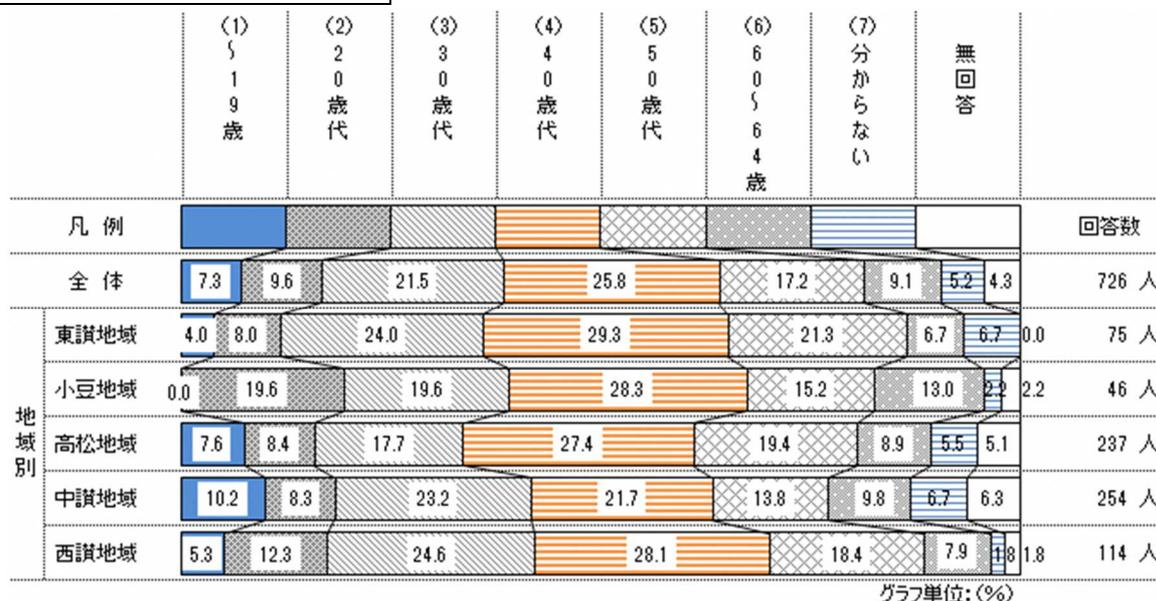
(1) 『地域別』のひきこもりの個別状況

ひきこもりの状態にある方の性別



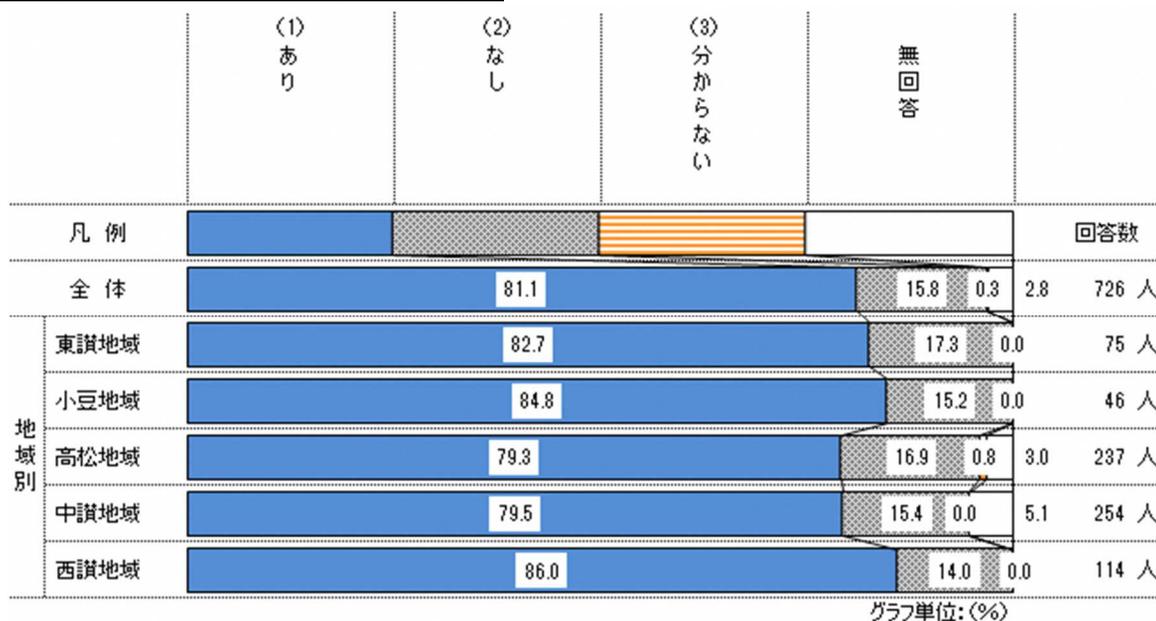
ひきこもりの状態にあるについて『地域別』にみると、いずれの地域も「男」が6割以上となっており、『西讃地域』では「男」が85.1%と最も多くなっている。

ひきこもりの状態にある方の年齢



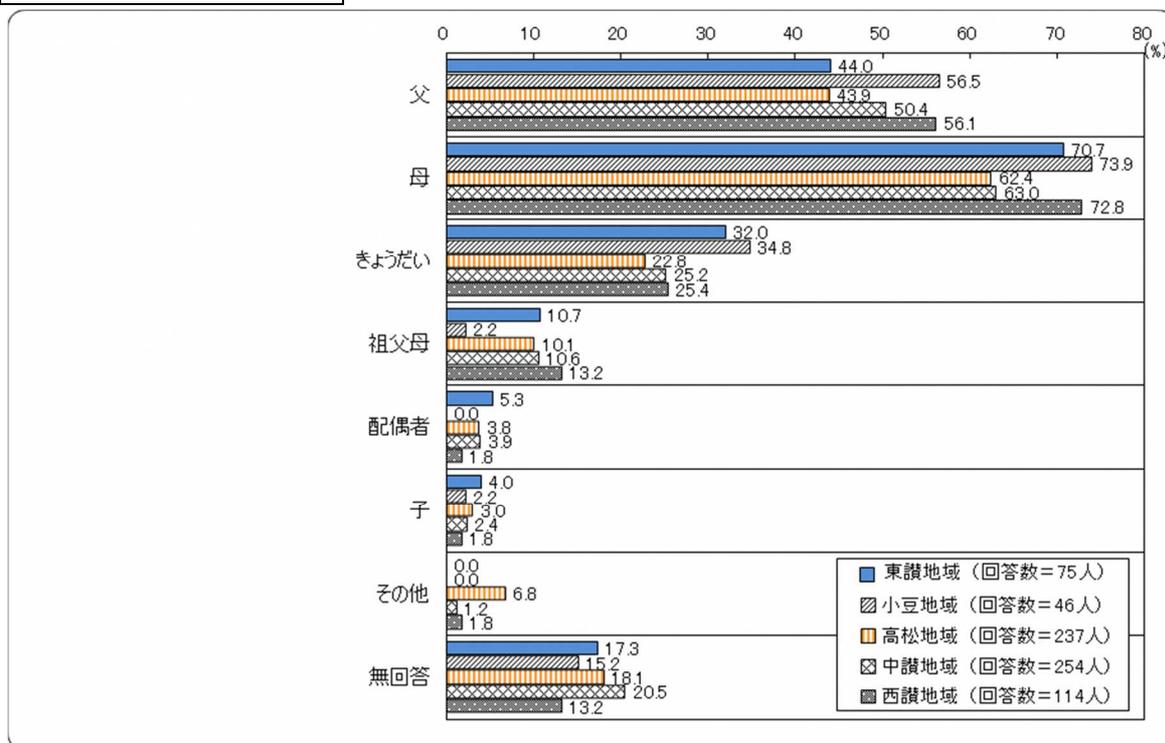
ひきこもりの状態にある方の年齢について『地域別』にみると、いずれの地域も「40歳代」が最も多く、『小豆地域』では「20歳代」が19.6%と比較的多くなっている。

ひきこもりの状態にある方の同居者の有無



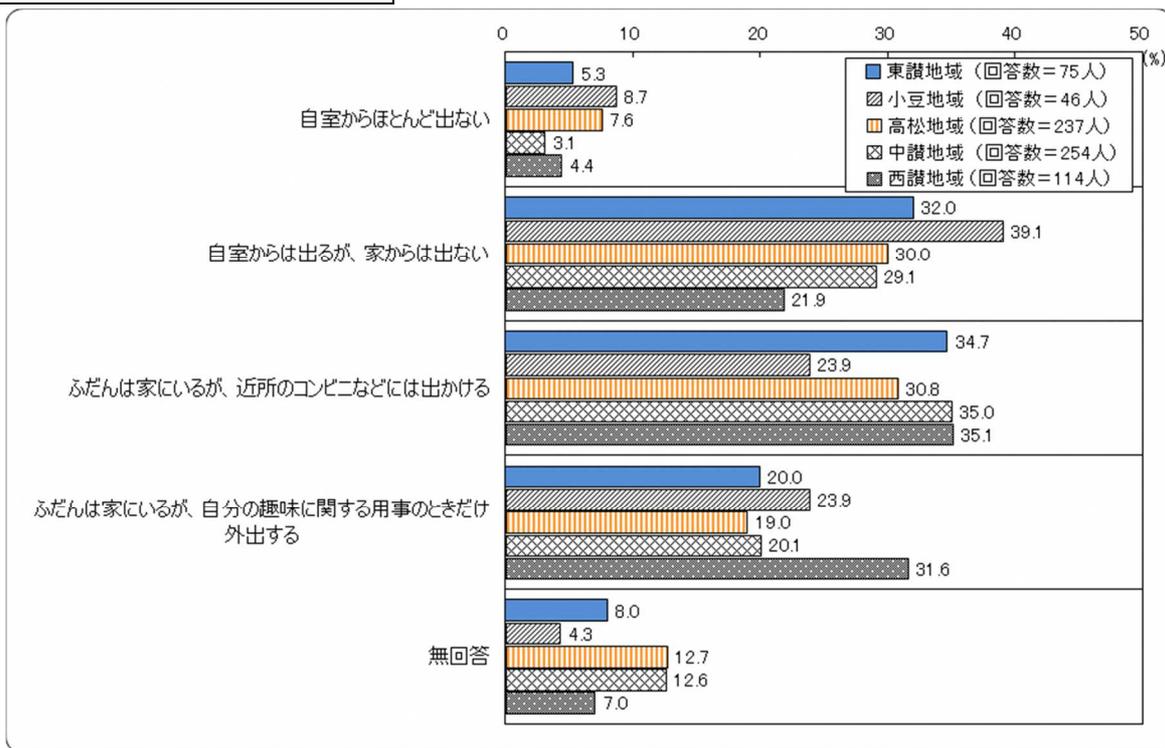
同居者の有無について『地域別』にみると、いずれの地域も「あり」が7割以上となっており、『西讃地域』では「あり」が86.0%と最も多くなっている。

同居者の内訳(家族構成)



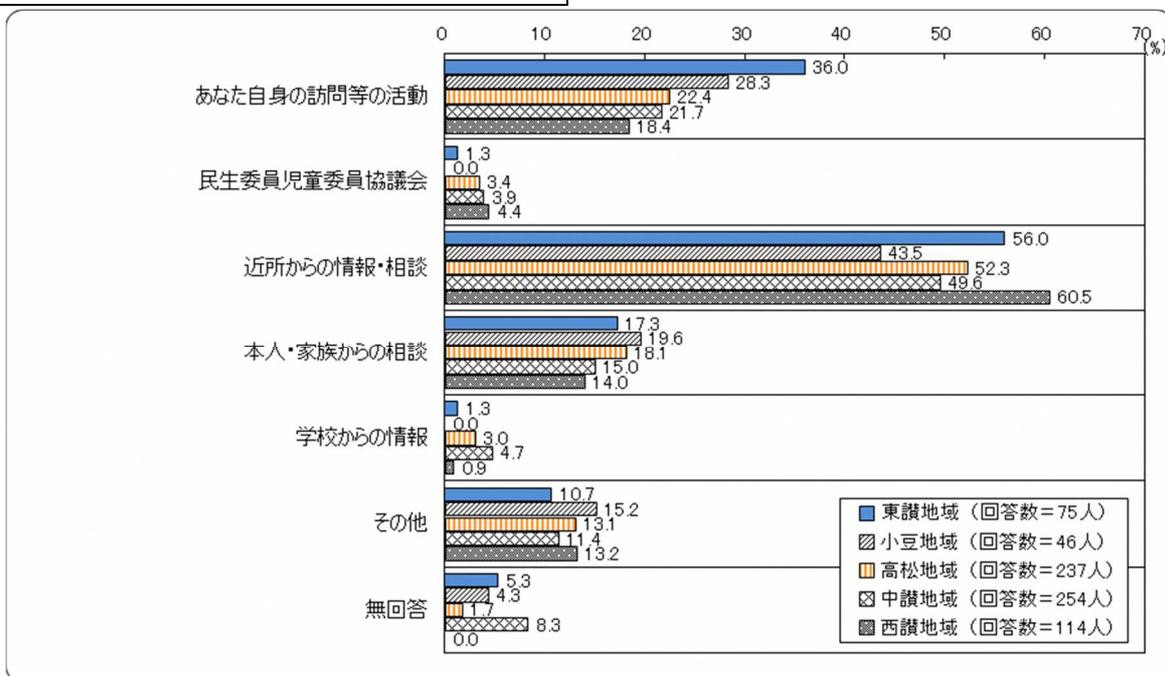
同居者の内訳(家族構成)について『地域別』にみると、いずれの地域も「父」と「母」が4割以上で多く、『東讃地域』『小豆地域』では「兄弟」が比較的多くなっている。

ひきこもりの状態にある方の状況



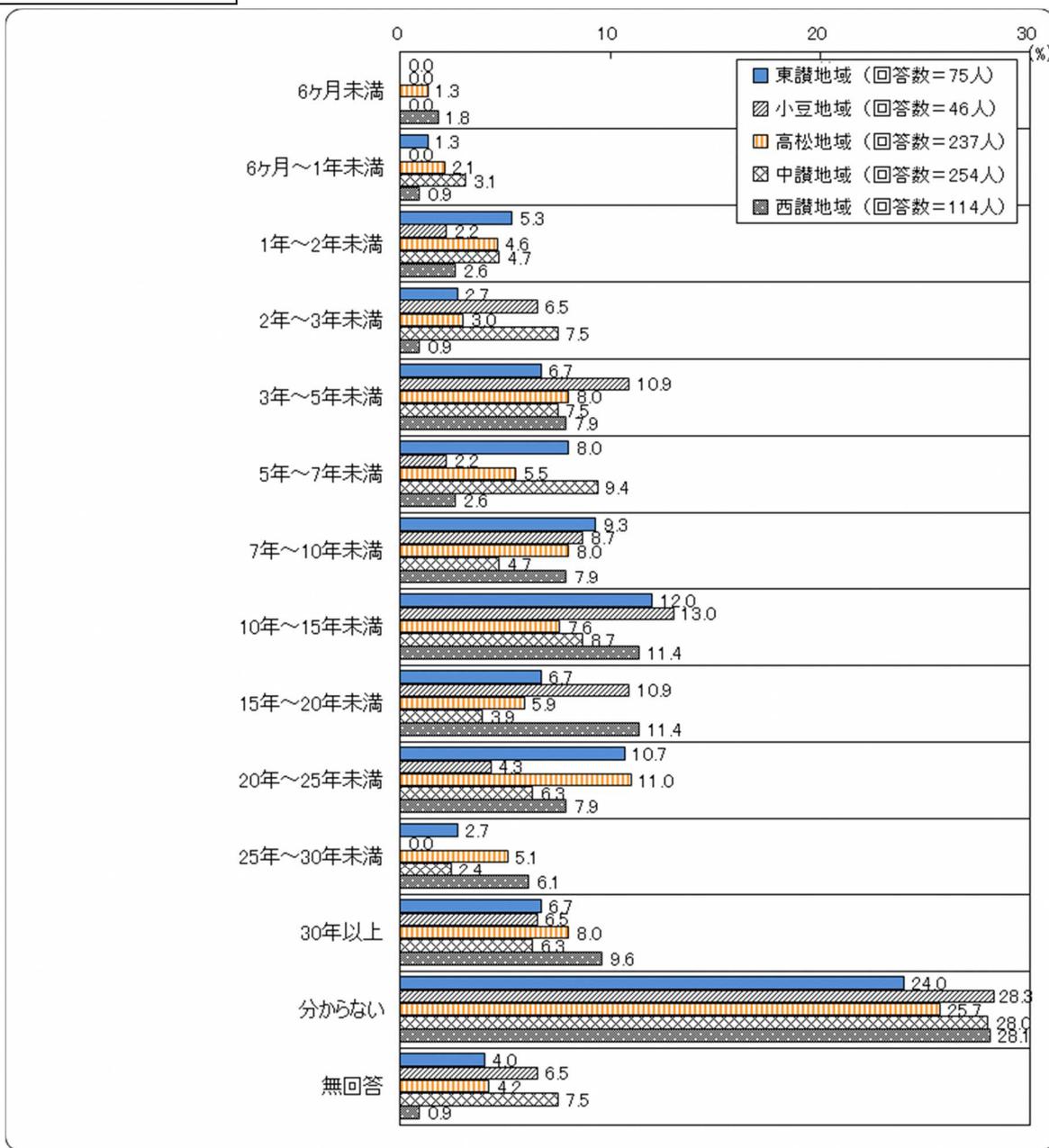
ひきこもりの状態にある方の状況について『地域別』にみると、『小豆地域』以外では「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が最も多く、『小豆地域』では「自室からは出るが、家からは出ない」が39.1%と最も多くなっている。

ひきこもりの状態にある方の存在を知ったきっかけ



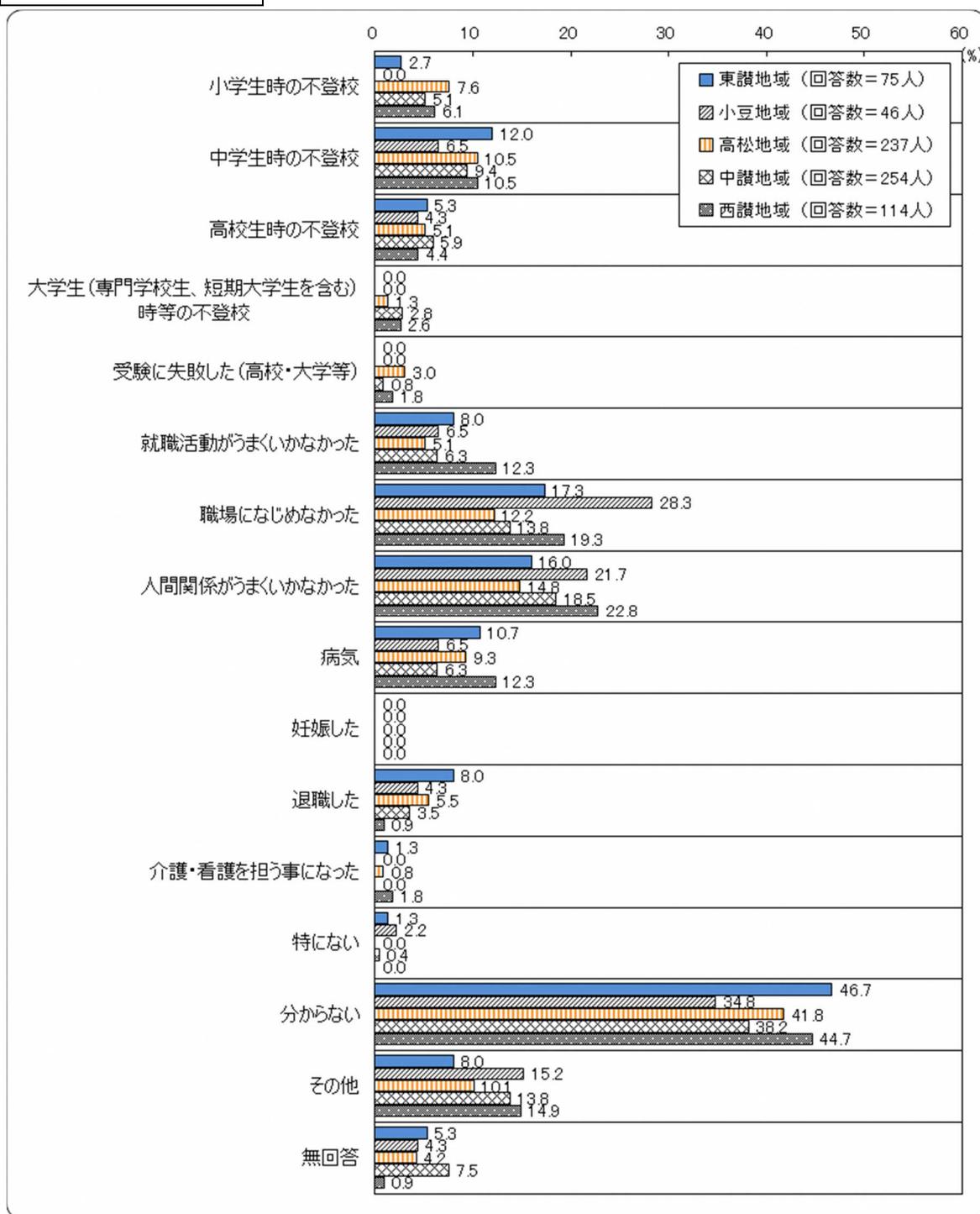
ひきこもりの状態にある方の存在を知ったきっかけについて『地域別』にみると、いずれの地域も「近所からの情報・相談」が最も多く、中でも『西讃地域』では60.5%と最も多くなっている。

ひきこもっている期間



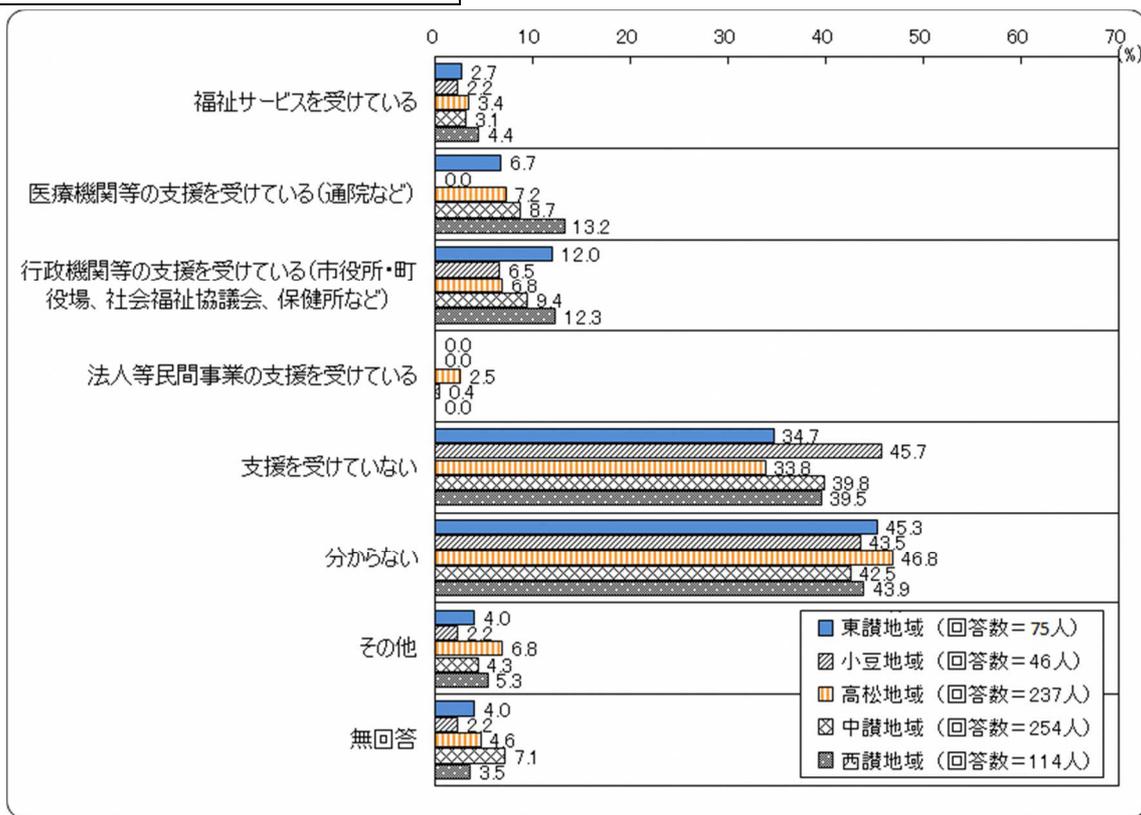
ひきこもっている期間について『地域別』にみると、いずれの地域も「分からない」が最も多く、『高松地域』や『西讃地域』では「20年以上」が比較的多くなっている。

ひきこもりになったきっかけ



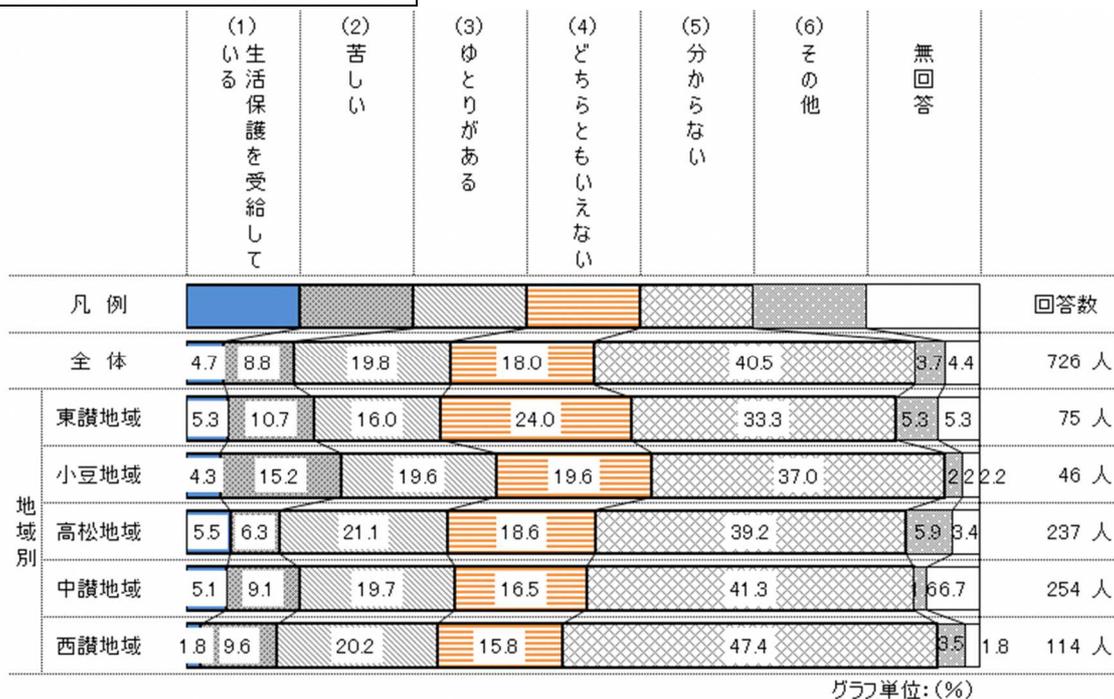
ひきこもりになったきっかけについて『地域別』にみると、いずれの地域も「分からない」が最も多く、『小豆地域』では「職場になじめなかった」が28.3%、『西讃地域』では「人間関係がうまくいかなかった」が22.8%と比較的多くなっている。

ひきこもりの状態にある方の支援の状況



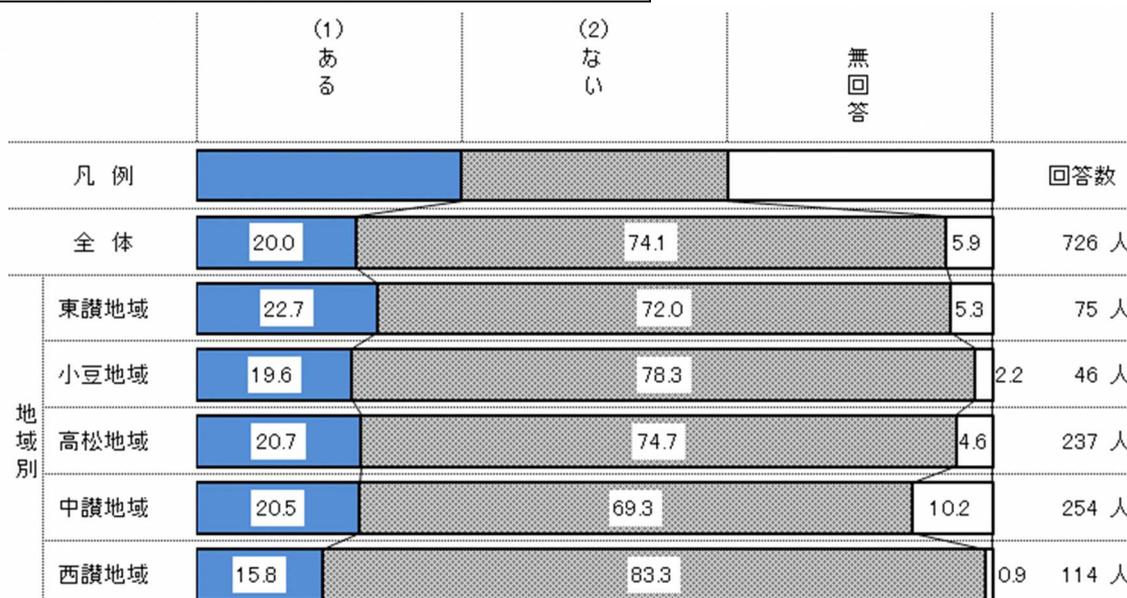
支援の状況について『地域別』にみると、いずれの地域も「分からない」が4割以上、「支援を受けていない」が3割以上と多く、『西讃地域』では「医療機関等の支援を受けている」が13.2%、「行政機関等の支援を受けている」が12.3%と比較的多くなっている。

ひきこもりの状態にある方の暮らしぶり



暮らしぶりについて『地域別』にみると、いずれの地域も「分からない」が3割以上となっており、『小豆地域』では「苦しい」が15.2%と比較的多くなっている。

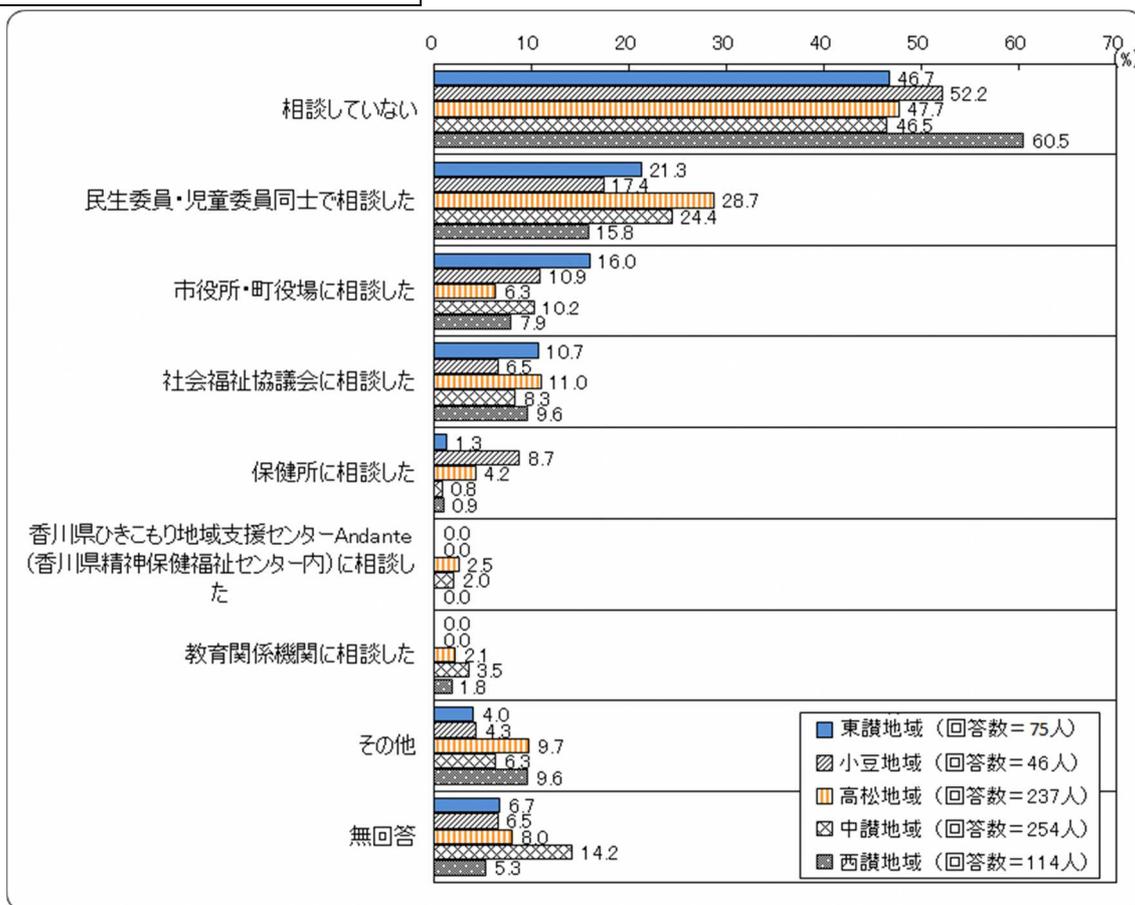
ひきこもりの状態にある方の民生委員・児童委員のかかわり



グラフ単位：(%)

民生委員・児童委員のかかわりについて『地域別』にみると、いずれの地域も「ない」が多く、『東讃地域』では「ある」が22.7%と比較的多くなっている。

民生委員・児童委員の相談の有無



民生委員・児童委員の方の相談の有無について『地域別』にみると、いずれの地域も「相談していない」が最も多く、『高松地域』では「民生委員・児童委員同士で相談した」が28.7%と比較的多くなっている。

(2) アンケート調査票

平成30年度 ひきこもりに関する実態調査アンケート

調査票

市・町

1 調査目的

本調査は、ひきこもりの実態を把握し、その対策の大切な基礎資料として活用させていただきます。

2 調査対象

この調査では、下記に該当する方を「ひきこもりの状態にある方」として調査の対象とします。

様々な要因の結果として社会的参加（義務教育を含む就学、非常勤職を含む就労、家庭外での交遊など）を回避し、原則的には6ヵ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態。

（他者と交わらない形での外出をしている場合も含む。）

*ただし、重度の障害、疾病、高齢等で外出できない方を除く。

*この状態はあくまで目安です。

類似していると思う場合は「ひきこもりの状態にある方」として回答して下さい。

3 調査基準日

平成31年1月1日現在の情報で回答してください。

4 調査方法

県内の民生委員・児童委員に対するアンケート調査です。

このアンケート調査はあなたが日頃の活動等の中で把握している情報をもとに記入してください。戸別訪問等は不要です。

5 調査結果の取扱い

調査結果は集計した上で公表することを予定していますが、回答していただいた調査票そのものを公表することはありません。

6 調査票提出方法、提出期限

各地区民生委員児童委員協議会の協力を得て配布回収を行います。提出締切2月末日。

【調査実施機関・問合せ先】

香川県健康福祉部障害福祉課 精神保健・人材育成グループ

高松市番町四丁目1番10号 TEL:087-832-3294

問5 民生委員・児童委員として今取り組んでいる（取り組んだ）ことを教えてください。（複数選択可）

- 1 日頃からひきこもりの状態にある方や家族に声かけをしている。（複数選択可）
- 2 ひきこもりの状態にある方や家族からの相談に応じている。（訪問含む）
- 3 ひきこもりの状態にある方や家族に相談窓口を紹介した。
- 4 民生委員・児童委員自身が相談機関に相談した。
- 5 ひきこもりの状態にある方を集う場（趣味の場や作業の場など）に誘う。
- 6 かかわりたくない。
- 7 その他 []

問6 民生委員・児童委員として取り組んでみたいことを教えてください。（複数選択可）

- 1 日頃からひきこもりの状態にある方や家族にあいさつや声かけをする。
- 2 ひきこもりの状態にある方や家族からの相談があればしっかり聴きたい。
- 3 ひきこもりの状態にある方や家族に相談窓口、または集いの場を紹介する。
- 4 民生委員・児童委員自身が相談機関に相談する。
- 5 ひきこもりに関する研修会に参加して知識や対応技術を学ぶ。
- 6 ひきこもりの状態にある方を、自分がしている趣味の場や作業の場などに誘う。
- 7 ひきこもりの状態にある方が集まる場所にボランティアとして参加する。
- 8 ひきこもりサポーター*に登録する。
▶ *講習をうけ、ひきこもりの状態にある方の訪問相談や研修会の支援や普及活動などを行う。
- 9 かかわりたくない。
- 10 その他 []

問7 ひきこもりに関する支援策で必要と思われるものを教えてください。（複数選択可）

- 1 個別的就かつ長期的に訪問等でひきこもりの状態にある方やその家族にかかわる。
- 2 関係機関同士の情報の共有や連携の強化。
- 3 支援する側の知識・スキル向上のための研修会の実施。
- 4 身近なひきこもり相談窓口を設置し、その窓口を広く広報する。
- 5 家族の方への支援を充実させる。（家族対象の研修会など家族が対応を学ぶ等）
- 6 家族同士が気軽に集まり、何でも話せる居場所が必要である。
- 7 ひきこもりの状態にある方同士が気軽に集まれる居場所が必要である。
- 8 ひきこもりの状態にある方の自立に向けた生活訓練や社会復帰訓練ができる場所の充実。
- 9 ひきこもりに関して、一般住民への正しい理解と知識の普及。
- 10 不登校の子どもへの支援を充実させて、ひきこもり状態に移行しないようにする。
- 11 ひきこもりサポーターの支援を充実させる。
- 12 その他 []

問8 その他、ご意見や行政に求めることなど、自由にお書きください。

***問1でひきこもりの状態にある方が「いる」とお答えの方について**

問9 ひきこもりの状態にある方の状況を教えてください。

⇒下記「ひきこもりの個別調査票」にご記入ください。

○以下同じ用紙で3名分記入できるようにしていますので、1名ずつご記入ください。

○用紙が足りない場合は、コピーして使用いただくか、下記まで御連絡下さい。

香川県障害福祉課 須藤（電話087-832-3294）

○本調査票の最終ページに『ひきこもりに関する相談窓口』一覧表を添付しています。ご回答いただいた民生委員・児童委員の方やひきこもりの状態にある方・家族の相談先としてご利用ください。（相談窓口一覧はお手元で保管していただいても結構です。）

ひきこもりの個別調査票（1人目）

該当する番号に○をつける、または自由記載をお願いします。

- ・1世帯に2人以上おられる場合は、それぞれにご記入ください。
- ・分かる範囲でご記入ください。

*具体的なお名前等は記載していただくなくて結構です。

1 該当する方の性別を教えてください。

1 男 2 女 3 その他

2 該当する年齢を教えてください。*お分かりでない場合は推測で結構です。

1 ~14歳 4 25~29歳 7 40~44歳 10 55~59歳
 2 15~19歳 5 30~34歳 8 45~49歳 11 60~64歳
 3 20~24歳 6 35~39歳 9 50~54歳 12 分からない

3 該当する方の家族の状況について教えてください。

同居者はいますか。

1 あり 2 なし 3 分からない

どなたと一緒に住んでいますか。（複数選択可）

1 父 2 母 3 きょうだい 4 祖父母 5 配偶者 6 子 7 その他（ ）

同居家族の中に、該当する方以外にひきこもり状態にある方がいれば教えてください。

（複数選択可）

1 父 2 母 3 きょうだい 4 祖父母 5 配偶者 6 子 7 その他（ ）

4 該当する方の状況を教えてください。

1 自室からほとんど出ない
 2 自室からは出るが、家からは出ない
 3 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
 4 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する

5 あなたがその該当する方の存在を知ったきっかけについて教えてください。(複数選択可)

- | | | |
|----------------|--------------|-----------|
| 1 あなた自身の訪問等の活動 | 3 近所からの情報・相談 | 5 学校からの情報 |
| 2 民生委員児童委員協議会 | 4 本人・家族からの相談 | 6 その他 () |

6 ひきこもっている期間について教えてください。

- | | | | |
|------------|-------------|--------------|---------|
| 1 6ヶ月未満 | 5 3年～5年未満 | 9 15年～20年未満 | 13 分らない |
| 2 6ヶ月～1年未満 | 6 5年～7年未満 | 10 20年～25年未満 | |
| 3 1年～2年未満 | 7 7年～10年未満 | 11 25年～30年未満 | |
| 4 2年～3年未満 | 8 10年～15年未満 | 12 30年以上 | |

7 該当する方がひきこもりになったきっかけを教えてください。(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1 小学生時の不登校 | 9 病気 →(病名:) |
| 2 中学生時の不登校 | 10 妊娠した |
| 3 高校生時の不登校 | 11 退職した |
| 4 大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校 | 12 介護・看護を担うことになった |
| 5 受験に失敗した(高校・大学等) | 13 特にない |
| 6 就職活動がうまくいかなかった | 14 分からない |
| 7 職場になじめなかった | 15 その他 |
| 8 人間関係がうまくいかなかった | (具体的に:) |

8 該当する方の支援の状況について教えてください。(複数選択可)

- | | |
|---|-------------|
| 1 福祉サービスを受けている | 5 支援を受けていない |
| 2 医療機関等の支援を受けている(通院など) | 6 分からない |
| 3 行政機関等の支援を受けている
(市役所・町役場、社会福祉協議会、保健所など) | 7 その他 () |
| 4 法人等民間事業の支援を受けている | |

9 該当する方の暮らしぶりについて教えてください。

- | | | |
|---------------|-------------|-----------|
| 1 生活保護を受給している | 3 ゆとりがある | 5 分からない |
| 2 苦しい | 4 どちらともいえない | 6 その他 () |

10 現在、該当する方に対し、民生委員・児童委員のかかわりがありますか。

- | | |
|-------------------------------|------|
| 1 ある | 2 ない |
| ↓ 現在のかかわりを教えて下さい。
(かかわり:) | |

11 該当する方について、どなたかに相談しましたか。(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1 相談していない。 → (理由をご記入ください:) | |
| 2 民生委員・児童委員同士で相談した | 6 香川県ひきこもり地域支援センター ^{アンダンテ} (香川県精神保健福祉センター内) に相談した |
| 3 市役所・町役場に相談した | 7 教育関係機関に相談した |
| 4 社会福祉協議会に相談した | 8 その他 () |
| 5 保健所に相談した | |

*恐れ入りますが、記入漏れがないか確認をお願い致します。
ご協力ありがとうございました。